

＜夏季例会報告＞

鍋倉山・黒倉山の植物観察会

大平仁一（飯山市瑞穂 1166-9）

第154回例会は平成9年9月6日（土）～7日（日）に、飯山市近郊の鍋倉山・黒倉山で行われた。参加者は林一六会長、小口好久、御台喜貞、川上美保子、中村英夫、河野三枝子、渋沢美佐緒、相馬敬子、相馬弘、宮島佳彦、石澤滋子、菅原敬、斎藤定美、和田清、篠原喜運、丸山千恵子、堀米富平、中山冽、小久保知子（鎌倉市）、中山博子（鎌倉市）、大平ユリ、関原康子の各氏、地元飯山市から講師の高橋勲氏、そして大平仁一（幹事）の計24名であった。

第1日目：午前8時、飯山市役所前に集合し、林会長の挨拶、そして講師の高橋氏の説明の後、鍋倉山方面へ向かう。途中、田茂木池と茶屋池に立ち寄り、池のまわりの植物相を観察する。田茂木池ではヤナギトラノオを代表に、ヒメヤシャブシ、ミヤマカワラハンノキ、タツウツギ、ミズナラ、ヤマネコヤナギ、アオダモ、オクチョウジザクラ、イソノキなどの木本、そしてヌマトラノオ、ミズトラノオ、オオヒゲナガカリヤスモドキ、オオニガナ、コオニユイ、アゼガヤ、フトイ、ミズチドリ、ヒメザゼンソウ、サワオトギリ、ヒメシロネ、クサレダマ、サワヒヨドリ、ミツガシワ、ドクゼリ、イヌタヌキモ、ミソハギ、カキツバタなどの草本を確認できた。また茶屋池周辺ではしばしハイハマボスを観察した。その周囲には、ブナ、タムシバ、ムラサキヤシオ、ユキツバキ、ウリハダカエデ、ヤマモミジ、マルバマンサク、ミヤマニワトコ、オオカメノキ、エゾユズリハ、ウラジロヨウラク、ミズナラ、エゾアジサイ、リョウブなどの木本が生育し、林床にはコシノカンアオイ、ウスバサイシン、クルマバハグマ、ヤマソテツ、ギンリョウソウ、シロバナカモメヅル、オクモミジハグマ、シノブカグマ、ショウジョウバカマが生育していた。

その後関田峠より黒倉山（1242m）を経由し、鍋倉山山頂（1288m）をめざす。途中黒倉山の幻の湖沼でフトヒルムシロを確認する。霧の鍋倉山山頂で昼食をとる。午後は「森姫」「森太郎」「こぶブナ」となづけられるブナの巨木を観察する。それぞれの胸高直径は次のようであった。森姫（姿形が一番美しい）－157cm；森太郎（一番太く、豪壮）－189cm；こぶブナ－149cm。また山道沿いには次のような植物を確認する。ミズナラ、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、ヤマモミジ、ウリハダカエデ、テツカエデ、チシマザサ、タニウツギ、オオカメノキ、アオダモ、クロヅル、ヒメモチ、エゾアジサイ、ツノハシバミ、リョウブ、ユキツバキ、タムシバ、ナナカマド、ミネカエデ、ムラサキヤシオ、アクシバ、オオイワカガミ、ヒメアオキ、ノリウツギ、ヤマウルシ、ツタウルシ、ハイイヌツゲ、オオバクロモジ、イワガラミ、ホソバトウゲシバ、アブラチャン、ハイイヌガヤ、エゾユズリハ、イワナシ、ヤクノフウリンモドキ、ミヤマニワトコ、ハナヒリノキ、ムラサキシキブ、シラネウラボ、シノブカグマ、ヤマソテツ、ミヤマメシダ、ミゾシダ、オクモミジハグマ、ヤグルマソウ、コシノカンアオイ、ウスバサイシン、トリアシショウマ、サラシナショウマ、タニギキョウ、チゴユリ、ツクバネソウ、オオナルコユリ。

夕方4時すぎに、宿泊地森の家のコテージに着く。その後森の家の研修センターに入り、飯山市長より歓迎の挨拶があり、夜は飯山地方のスライド写真を見ながら勉強会、そして懇親を深める。

第2日目：森の家を8時半出発、途中「そば花まつり」を見学し、北竜湖、南竜池跡湿原を観察した。その後小菅杉並木の植物観察を行い、次のような種類を記録した。チャボガヤ、ケヤマウコギ、ヒメアオキ、クサギ、ケアブラチャン、ケンボナシ、ハイイヌガヤ、ハナイカダ、ヤマヤブソテツ、ナガミノツルキケマン、ヤマジノホトトギス、ダケノホトトギス、ダケゼリ、ノブキ、ヒトリシズカ、など。杉並木を出た所の茶庵の庭で「ヤマナ

シ」の実を見つけ食した。昼食は大川村落の民家、沢田さん宅で地元の植物を食材とした天ぷらやそばを食した。午後は近くの「正受庵」を見学し、夕方4時過ぎ飯山市役所で解

散する。遠方から参加してくださった方々、講師の高橋先生に感謝し、厚くお礼申し上げます。

<会記>

平成9年8月3日 第153回例会および平成9年度総会。

第153回例会は信州昆虫学会との共催で、「昆虫と植物の相互作用」というテーマで公開シンポジウムを開催した

会場：信州大学理学部講義棟。

講演：1. ギフチョウ、ヒメギフチョウと食草カンアオイ

演者：浜栄一（信州昆虫学会），
菅原敬（信州大理）

2. 昆虫と花の共進化

演者： 北村泰三（県果樹試験場），井上健（信州大理）
シンポジウム終了後、同会場にて総会を行う。

総会：

(1) 林一六会長より挨拶。

(2) 平成8年度の庶務・会計報告。いずれも承認。

(3) 庶務幹事より会誌編集報告。

(4) 平成9年度予算審議

会誌印刷のための予算が前年度より多少増えるが、会の財政状況、会費納入状況は順調である。予算案も異議なく承認された。

(5) その他

第154回の例会は飯山市の大平仁一さん（幹事）にお願いすることにした。

平成9年9月6日～7日 第154回例会

飯山市近郊の鍋倉山・黒倉山で植物観察会を行う。幹事は大平仁一氏に、講師は地元の高橋勸氏にお願いする。参加者は24名（詳細は夏季例会報告にて）。
